

第63回四大学運動競技大会

正式種目第48回四大学スキー競技大会報告

2月10日（金）、雪の降る中9：00より野沢温泉南原クロスカントリー会場にて第63回四大学運動競技大会 正式種目第48回スキー競技の開会式が開催された。大学からは上向学生支援センター長、田中顧問、山本学生生活課長、高橋修一四大学運動競技大会担当に参列いただいた。

セレモニー終了後、すぐにクロスカントリー競技が開催された。こうして選手全員が一丸となってコースを作っていく姿はまさに美しい、の一言に尽きる！



山本実行委員長の挨拶



開会式、さあ決戦！

戦力的には本学と学習院の一騎打ち、こればかりはやってみなければわからない状況であった。本学選手はリラックスムード。なんとかワン、ツーを奪取して、翌日のリレーに繋げたかった。監督代行としての自分からは「行け、取るぞ、ガクシュに負けるな！」の檄ばかり。

一斉スタートで、本学3選手ともいいポジションでスタート。コース途中のポイントで上向先生、野口会長と3人で応援、やはり学習院との接戦、内田選手はいいポジション、しかしそれに続くべき尾形選手が少しペースダウン、結果的に内田選手が学習院をかわし、個人優勝、尾形選手はこれに続けず4位、村田選手が5位。試合終了後、学校順位としては学習院と同率1位、翌日のリレーに繋ぐこととした。



男子10キロ競技一斉スタート



優勝ゴール直前の内田選手

2月11日(土)、この日もかなりの雪、リレーにかける選手達がコースでアップしていた。出走順は1走尾形選手、2走村田選手、3走内田選手、出走順についてはこの大会の後に控えている全日本学生スキー選手権大会を意識してのオーダー、とのことであった。1走尾形選手は予想通りトップで帰り、2走村田選手に2位の学習院大学に約40秒の差を付けていた。2走村田選手も精一杯の走りをしたが、学習院にトップを明け渡し、学習院に90秒の差を付けられて3走の内田選手にタッチ、5キロで90秒、しかも相手は学習院のエース、しかしながら前日はこれを敗って内田選手が優勝、学習院エースも今日は負けられない、とスタート直後から血走っていた。「行け、元、野沢でのラストランだぞ!!!」自分からのうるさい檄を身体いっぱい受け、90秒を追いかける。この時点では自分自身さすがの元でも正直難しいかな、と思っていた。

少したって3キロポストチェックポイントから、学習院と30秒さまで詰めている情報が入ってきた。クロスカントリーの難しさを知っている自分は、2キロで30秒は・・・、「学習院転けろ!!!」と心の中では叫び続けていた。数分後、コースハウス直線コースに、心の叫びと裏腹に学習院が入ってきた。やはり元でも難しかったかぁ、と悔しがっていたその時、20数秒差で内田選手が直線コースに出現、思っきり檄を飛ばした。幸いなことに追われる学習院は多少バテ気味、ひよっとしたら、という思いがラスト300メートルで自分の頭をよぎった。コースに響いているのは学習院大学応援団の学習院選手へのエール、それ以上に「元、学習院に負けるのか!!!」、「元、押せ!!!」、「元、もっと押せ!!!」、「元、捕れるぞ!!!」、自分からの元への精一杯の檄、罵倒の嵐。全選手から見えるコース上で見る見るうちに間隔を詰め、最終コーナーから最後のゴール直線コースにかかった時点で、学習院に数十メートル差、これを内田選手が気力でかわし、ゴール手前10メートル付近でトップに出てそのままゴールで逆転優勝!!!本学の歓喜は本当に久しぶり!!!ゴール後しばらく内田選手はしゃべることができず、落ち着いて開口一番は「小倉さん、うるさいんですもん!!!」、涙がでた。



4年前はど素人であったこの選手たち
学習院を倒し、最高の笑顔です。
左から内田選手、村田選手、尾形選手

試合終了後、学習院チームはユニフォームのフードを被り、下を向いたまま一言もしゃべらなかった。



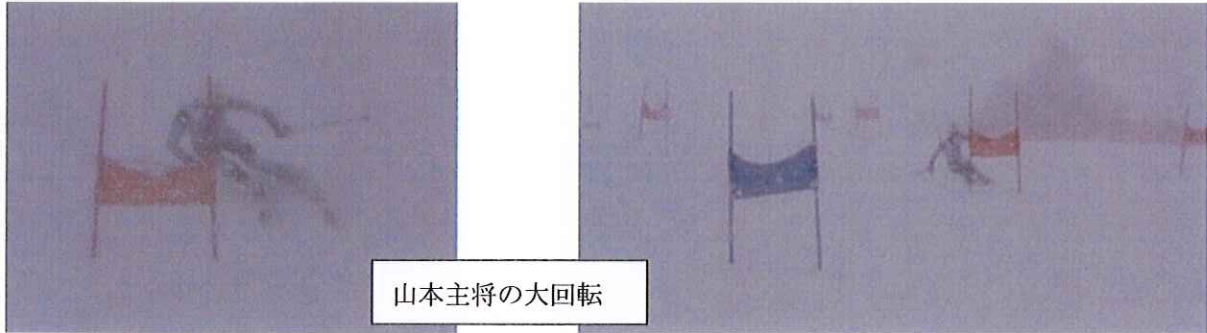
リレー優勝直後の本学選手と応援メンバー

自分たちが4年生時、学習院を敗って総合逆転優勝した光景が蘇った、同じこのコースであった。

「尾形、村田、内田、よくやった!!!」、山本選手、杠葉選手もオープンチームとして走り、ナイスランであった。杠葉選手にはぜひクロスカントリーを目指すよう、監督のモチベーション施策に期待したい。敗れた学習院の選は、

明日のアルペンでは2部校と4部校の差をみせますよ」と捨てぜりふしていったのが印「象的であった。

2月12日(日)、この日も大雪、アルペン種目の日である。セッターによるコースセットが行われても、降りしきる雪ですぐにコースに雪がたまってしまふ、そんな天候であった。午前中に大回転、午後に回転、セット替えの予定も、降りしきる雪により、四大 TCM (チームキャプテンミーティング) でセット替えは実施せずに決行することを決定した。



山本主将の大回転

前日の予告通り、学習院大学のリベンジは現実のものとなった。アルペンはやはり学習院大学は強かった。山本選手、内田選手、杠葉選手もよく頑張った。特段1年生の杠葉はなかなかいい滑りをし、翌シーズンに楽しみを残した。その後、降りしきる雪のなかで、コースゴールエリアで閉会式、総合では学習院に敗れたが総合2位を奪取した。

山本、尾形、内田、村田、杠葉、、本当にお疲れさん!!有終の美だったね。

4年前に入部してきた時のお前達を思い出す、村田は2年生からの入部で、しかも家庭の事情もあったが、よくぞここまで頑張った!

監督時代にはうるさい、理不尽なこともたくさん言ってきた、でもお前たちはすばらしく成長した。心からお礼を、そして賛辞を贈りたい、ありがとう!!



カンダハーコースでの閉会式



総合2位を授与される山本主将



最高のメンバー「MUSASHI Racing Ski Team」

文責 第63回四大学運動競技大会
正式種目第48回スキー競技合宿
監督代行/小倉宇思(30期)